

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

放送業務委員会（第 52 回）議事概要（案）

日時：令和 6 年 2 月 13 日（火）15:00～16:25

場所：Web 会議(Webex)

出席者：

伊丹主査（東京理科大学）、大槻主査代理（慶應義塾大学）、
伊藤専門委員（日本放送協会）、岩崎専門委員（東京農工大学）、
浦野専門委員（日本テレビ放送網(株)）、岡村専門委員（(株)テレビ朝日）、
児玉専門委員（一般社団法人電波産業会）、下地専門委員（パナソニック(株)）、
鈴木専門委員（日本電信電話(株)）、西田専門委員（日本放送協会）、
半澤専門委員（(株)TBS テレビ）、廣野専門委員（(株)フジテレビジョン）、
藤井専門委員（日本放送協会）、丸茂専門委員（(株)テレビ東京）、
明堂専門委員（(株)KDDI 総合研究所）、山影専門委員（東芝インフラシステムズ(株)）

事務局：

総務省 情報流通行政局 放送技術課
西村技術企画官、谷田補佐、伊藤係長、飯塚官

【配布資料一覧】

資料 放-52-1	放送業務委員会（第 51 回）議事概要（案）
資料 放-52-2	2024 年 3 月 ITU-R SG6、各 WP 会合の概要
資料 放-52-3	<u>放送業務 WG における検討結果</u>
資料 放-52-4	<u>外国寄与文書審議表（案）</u>
資料 放-52-5	<u>日本寄与文書（案）</u>
資料 放-52-6	<u>ITU-R SG6、各 WP 会合への対処方針（案）</u>
資料 放-52-7	今後の検討スケジュール（案）
資料 放-52-8 （参考資料）	2023 年無線通信総会（RA-23）、2023 年世界無線通信 会議（WRC-23）の結果について
資料 放-52-9 （参考資料）	放送業務委員会構成員名簿
資料 放-52-10 （参考資料）	2023 年 9 月 ITU-R SG6 会合後に承認された勧告等

※下線部の資料は構成員及び関係者限り。

1. 配布資料の確認

事務局より、配布資料の確認が行われた。

2. 前回議事概要の確認

資料 放-52-1「放送業務委員会（第 51 回）議事概要（案）」が確認され、質疑が行われた。質疑の概要は次のとおり。

西田 専門委員：対処方針に関わる部分は非公開になるものと承知している。

事務局：HP へは該当箇所を削除したものを掲載する。

3. ITU-R SG6、各 WP 会合への対処について

3.1. ITU-R SG6、各 WP 会合の概要について

事務局より、資料 放-52-2「2024 年 3 月 ITU-R SG6、各 WP 会合の概要」に基づき、次回の会合について説明が行われた。

3.2. 外国寄与文書への対処案について

西田専門委員（放送業務 WG 主任）より、資料 放-52-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-52-4「外国寄与文書審議表（案）」に基づき、外国寄与文書の審議表案について主なトピックの説明が行われ、案のとおり承認された。今後提出される外国寄与文書への対処については、審議表案を作成してメールにて審議を行うことが主査より提案されて承認された。

3.3. 日本寄与文書案について

西田専門委員より、資料 放-52-3「放送業務 WG における検討結果」及び資料 放-52-5「日本寄与文書（案）」に基づき、日本から提出される予定の寄与文書案が説明された。質疑の概要は次のとおり。

【B3 グローバルプラットフォームにおけるコンテンツの配信～受信】

廣野 専門委員：コンテンツを配信・受信する仕組みと表現されているが、DVB-I を考慮すると書いてあることからすると、ネット上で放送由来のコンテンツを発見する仕組みのことを指しているのか。また、そういった仕組みについて国内では標準をまだ定めていないが、こういったビジョンを持っているか。

西田 専門委員：必ずしもブロードバンド経由で提供されるコンテンツに限らず、放送波とブロードバンド網で提供されるコンテンツを合わせたものを視聴者にどう届けるのか、どのようにしてそのコンテンツを入手できるのかを受信機に知らせるのか、そして、受信機上で視聴者に所望のコンテンツを選んでもらう仕組みを示すことを想定している。国内では、IPTV フォーラムに NHK から情報を提供し検討されていると聞いており、また、NHK 技研公開でも昨年、一昨年と関連する技術を展示した。現時点で世界的な標準規格は ETSI 規格の DVB-I のみと理解しているが、基本的な部分について目を向けると、DVB-I が採用している考え方がレポート BT. 2400 の記載と非常に似通っている。国内ではこれからだが、先

行している規格や IPTV フォーラムで検討され始めているものを参考に勧告を作成できるのではないかと考えている。

寄与文書案にある通り、今回は具体的な勧告を提案するのではない。これまでの韓国提案の勧告化ではなく、より基本的なアーキテクチャと呼ぶに相応しいものの勧告化を提案し、WP6B としてそれに向けて検討を進めていくべきと主張したい。

廣野 専門委員 非常に重要なテーマだと思っている。しっかり取り組むべきと思う。

この他、西田専門委員より、寄与文書案A1のFIGURE 8 (b)に説明を追記する旨、及び、寄与文書案G2の4.4.6節について誤記を修正する旨の発言があった。

3.4. ITU-R SG6、各 WP 会合への対処方針案について

事務局より、資料 放-52-6「ITU-R SG6、各 WP 会合への対処方針（案）」に基づき、会合への対処方針案が説明され、案のとおり承認された。

4. その他

4.1. 今後のスケジュールについて

事務局より、資料 放-52-7「今後の検討スケジュール（案）」に基づき、今後のスケジュールが説明された。

4.2. RA-23、WRC-23 の結果について

事務局より、資料 放-52-8「2023 年無線通信総会（RA-23）、2023 年世界無線通信会議（WRC-23）の結果について」に基づき RA-23 と WRC-23 について説明された。

以上